

VI 観光・文化・情報

1. 基本指標

項 目	名古屋市	愛知県	横浜市	大阪市
大学・大学院学校（平成24年）	16校	51校	13校	11校
学生数 学部・院生（平成24年）	82,967人	190,168人	72,691人	24,320人
文化財（平成22年）	239	1,011	160	421
国指定文化財	132	404	83	341
県指定文化財	107	607	77	80
宿泊施設数（平成21年）	183	755	100	281
宿泊者数（平成21年）	5,786,316人	10,648,542人	4,907,486人	9,900,000人
国際会議開催数（平成22年）	122	139	169	69
国際会議参加者数（平成22年）	74,977人	86,268人	164,789人	64,493人

市内の主な主要集客施設の入場者数（平成24年度）	
ナゴヤドーム	3,831,033
東山動物園	2,079,896
名古屋港水族館	1,990,050
ポートメッセなごや	1,507,494
名古屋城	1,414,769
名古屋市科学館	1,303,372
名古屋市農業文化園・戸田川緑地	1,281,235

圏域内の主な主要集客施設の入場者数（平成24年度）	
ナガシマリゾート	15,450,000
刈谷ハイウェイオアシス	8,270,000
中部国際空港セントレア	6,943,800
国営木曽三川公園・河川環境楽園	3,835,756
ラグーナ蒲郡	2,890,000
JAあぐりタウン「げんきの郷」	2,497,340
鈴鹿サーキット	1,992,448

※「学校基本調査」「愛知県統計年鑑」「国勢会議統計」

「2012年度東海3県主要主客施設・集客実態調査」（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）等を基に作成

2. 大学の学部学生数、大学院学生数

- 本市における平成24年度の大学の学部学生数及び大学院学生数は、それぞれ82,967人及び10,582人となっており、東京都、京都市に次ぐ数となっている。
- 学部学生数の対14年度比で見るとは本市は1.23倍と13大都市中最も高くなっている。

■ 全国及び13大都市の大学の学部学生数・大学院学生数

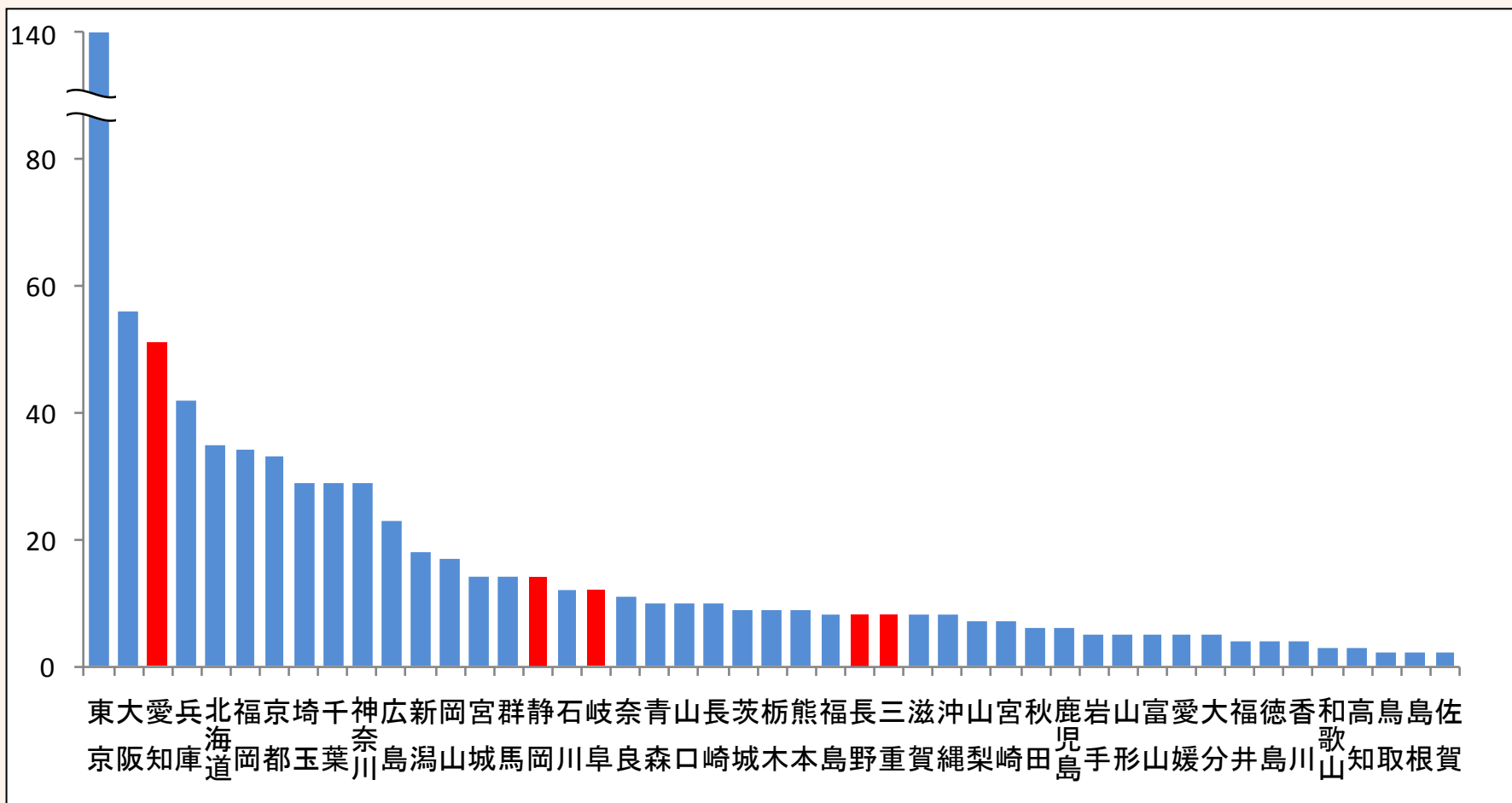
項目 地域等	平成 14 年度				平成 24 年度					
	学部学生数		大学院学生数		学部学生数			大学院学生数		
	人 数(人)	人口1000人 あたりの 学生数(人)	人 数(人)	人口1000人 あたりの 院生数(人)	人 数(人)	人口1000人 あたりの 学生数(人)	対14年 度比	人 数(人)	人口1000人 あたりの 院生数(人)	対14年 度比
全 国	2,499,147	19.63	223,512	1.76	2,561,243	20.07	1.02	263,317	2.06	1.18
13 大 都 市	964,504	34.37	110,824	3.95	1,039,715	35.04	1.08	134,837	4.54	1.22
札 幌 市	43,563	23.66	6,408	3.48	43,240	22.44	0.99	7,165	3.72	1.12
仙 台 市	38,786	38.13	6,834	6.72	40,202	38.08	1.04	7,526	7.13	1.10
千 葉 市	22,214	24.65	3,469	3.85	23,573	24.48	1.06	3,634	3.77	1.05
東京都区部	383,097	46.36	44,007	5.33	434,401	48.28	1.13	57,237	6.36	1.30
横 浜 市	70,805	20.31	7,932	2.28	72,691	19.67	1.03	9,105	2.46	1.15
川 崎 市	27,505	21.53	1,467	1.15	28,184	19.62	1.02	1,760	1.23	1.20
名古屋市	67,281	30.83	9,040	4.14	82,967	36.60	1.23	10,582	4.67	1.17
京 都 市	110,840	75.56	14,116	9.62	115,141	78.13	1.04	16,349	11.09	1.16
大 阪 市	23,458	8.96	2,097	0.80	24,320	9.09	1.04	3,024	1.13	1.44
神 戸 市	57,295	37.99	5,465	3.62	63,628	41.21	1.11	6,136	3.97	1.12
広 島 市	29,179	25.76	1,797	1.59	29,369	24.90	1.01	2,031	1.72	1.13
北 九 州 市	20,395	20.26	1,323	1.31	18,892	19.43	0.93	2,251	2.32	1.70
福 岡 市	70,086	51.40	6,869	5.04	63,107	42.41	0.90	8,037	5.40	1.17

※「学校基本調査」（文部科学省）を基に作成

3. 都道府県別大学数

- 愛知県は全国的にも大学数が多く、本市及び本市に隣接する市町村に多くの大学が立地している。

■ 都道府県別大学数



※「学校基本調査」（文部科学省）を基に作成

4. 国宝、重要文化財

- 重要文化財の種類の登録件数では、20大都市で本市は「書跡・典籍」、「古文書」が3番目、「工芸品」が4番目、「絵画」が5番目、「建造物」が6番目、「彫刻」が7番目に多くなっている。圧倒的に多いのは京都市、東京都であるが、それらを除く18大都市の中で「考古・歴史資料」を除く全てが上位5番目に入っている。

20大都市の種別重要文化財指定件数（国宝を除く）

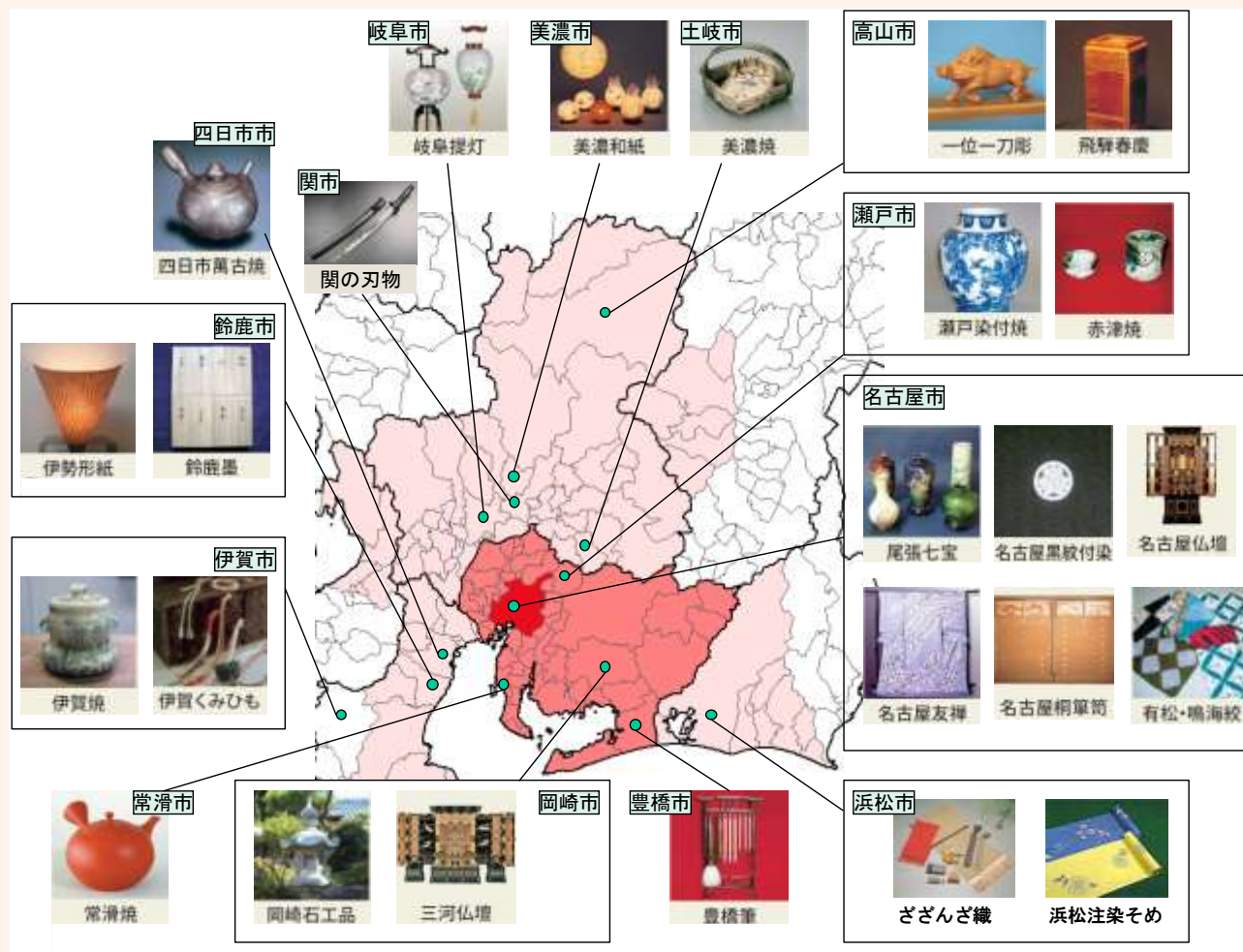
書跡・典籍			古文書			工芸品			絵画			建造物			彫刻			考古・歴史資料			総数		
順位	都市	数	順位	都市	数	順位	都市	数	順位	都市	数	順位	都市	数	順位	都市	数	順位	都市	数	順位	都市	数
1	東京都	591	1	京都市	259	1	東京都	642	1	東京都	534	1	京都市	204	1	京都市	292	1	東京都	221	1	東京都	2406
2	京都市	442	2	東京都	148	2	京都市	160	2	京都市	447	2	東京都	68	2	東京都	202	2	京都市	32	2	京都市	1836
3	名古屋市	45	3	名古屋市	4	3	大阪市	87	3	神戸市	47	3	神戸市	21	3	神戸市	20	3	神戸市	12	3	大阪市	209
4	大阪市	42	3	大阪市	4	4	名古屋市	39	4	大阪市	31	4	大阪市	20	4	大阪市	14	4	大阪市	11	4	神戸市	134
5	神戸市	15	5	横浜市	3	5	岡山市	28	5	名古屋市	16	5	横浜市	17	5	福岡市	10	5	福岡市	8	5	名古屋市	120
6	横浜市	14	6	静岡市	2	6	静岡市	24	6	福岡市	12	6	名古屋市	10	6	横浜市	9	6	横浜市	4	6	横浜市	73
7	福岡市	10	7	札幌市	1	7	福岡市	22	7	横浜市	10	6	堺市	10	7	名古屋市	5	7	仙台市	3	7	福岡市	71
8	静岡市	2	7	岡山市	1	8	神戸市	19	8	堺市	7	8	福岡市	9	8	岡山市	4	7	岡山市	3	8	岡山市	51
8	浜松市	2	9	仙台市	0	9	横浜市	16	9	岡山市	6	9	岡山市	8	9	静岡市	2	9	広島市	2	9	静岡市	36
8	堺市	2	9	さいたま市	0	10	浜松市	7	10	川崎市	1	10	川崎市	7	9	浜松市	2	10	さいたま市	1	10	堺市	26
11	仙台市	1	9	千葉市	0	11	仙台市	5	10	新潟市	1	11	札幌市	6	9	広島市	2	10	川崎市	1	11	浜松市	17
11	新潟市	1	9	川崎市	0	11	堺市	5	10	静岡市	1	11	広島市	6	12	仙台市	1	10	新潟市	1	12	広島市	15
11	岡山市	1	9	相模原市	0	13	札幌市	3	10	浜松市	1	13	新潟市	5	12	川崎市	1	10	静岡市	1	13	仙台市	13
11	広島市	1	9	新潟市	0	13	川崎市	3	10	広島市	1	13	浜松市	5	12	新潟市	1	10	名古屋市	1	13	川崎市	13
15	札幌市	0	9	浜松市	0	13	広島市	3	15	札幌市	0	15	静岡市	4	12	堺市	1	10	堺市	1	15	札幌市	10
15	さいたま市	0	9	堺市	0	16	相模原市	2	15	仙台市	0	15	北九州市	4	16	札幌市	0	16	札幌市	0	15	新潟市	10
15	千葉市	0	9	神戸市	0	17	さいたま市	1	15	さいたま市	0	17	仙台市	3	16	さいたま市	0	16	千葉市	0	17	北九州市	4
15	川崎市	0	9	広島市	0	17	千葉市	1	15	千葉市	0	18	相模原市	1	16	千葉市	0	16	相模原市	0	18	相模原市	3
15	相模原市	0	9	北九州市	0	17	新潟市	1	15	相模原市	0	19	さいたま市	0	16	相模原市	0	16	浜松市	0	19	さいたま市	2
15	北九州市	0	9	福岡市	0	20	北九州市	0	15	北九州市	0	19	千葉市	0	16	北九州市	0	16	北九州市	0	20	千葉市	1

※「大都市比較統計年表」（大都市統計協議会）、「我が国の文化政策（平成23年度）」（文化庁）を基に作成

5. 圏域における主要な伝統産業

- 愛知県には有松・鳴海絞、常滑焼、名古屋仏壇など、伝統的工芸品が多く立地している。
- 陶磁器については、当圏域は日本最大の生産地であり、常滑焼、赤津焼、美濃焼、伊賀焼など個性ある陶磁器産業が各地に根づいている。

■名古屋大都市圏内における主要な伝統産業



6. 圏域における観光資源

- 当圏域及び北陸地方には、史跡、自然、博物館・美術館、レジャー・ショッピング、温泉、街並み等の観光資源が豊富である。また、産業観光の観光資源が本市周辺に集積している。

■ 名古屋大都市圏及び北陸地方の観光資源(昇龍道プロジェクト)



※「昇龍道プロジェクトHP」を基に作成

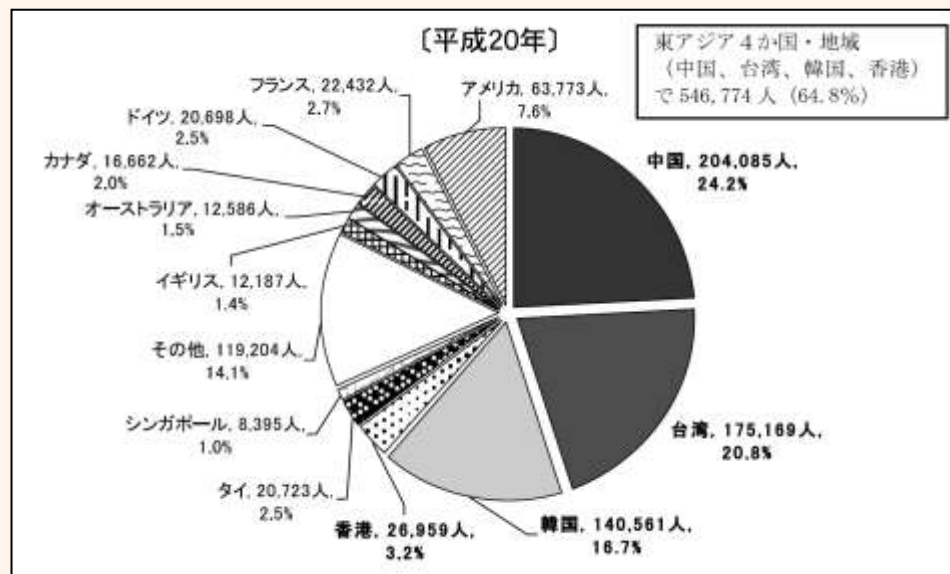
7. 外国人旅行者数、国・地域別外国人旅行者数割合

- 外国人旅行者数は年々増加傾向にある。国別では、平成20年で中国が24.2%と最も多く、上位は中華圏で半数以上を占める。

■ 外国人旅行者数の推移

	訪日外客数 (人) A	対前年比 (%)	訪問率 (%) B	本県訪問外客数 (人) C C = A × B	対前年比 (%)
平成20年	8,350,835	100.0	10.1	843,434	107.5
平成19年	8,346,969	113.8	9.4	784,615	111.4
平成18年	7,334,077	109.0	9.6	704,071	87.9
平成17年	6,727,926	109.6	11.9	800,623	135.9
平成16年	6,137,905	117.8	9.6	589,239	116.6
平成15年	5,211,725	99.5	9.7	505,537	86.2

■ 国・地域別外国人旅行者数、割合



※「愛知県観光振興基本計画」（愛知県）を基に作成

8. 目的別外国人のべ宿泊数

- 愛知県は外国人の延べ宿泊者数が多いが、その多くは出張・ビジネス目的の宿泊者である。観光・レクリエーション目的の宿泊者数は少なく、圏域内の静岡県、岐阜県や石川県より少ない。

■ 目的別外国人のべ宿泊者数(平成20年)

延べ宿泊者数			主に観光目的※			主にビジネス目的※		
	都道府県名	(千人)		都道府県名	(千人)		都道府県名	(千人)
1	東京都	7,349	1	東京都	2,260	1	東京都	5,089
2	大阪府	2,565	2	北海道	1,988	2	大阪府	1,439
3	北海道	2,198	3	大阪府	1,125	3	愛知県	901
4	千葉県	1,570	4	千葉県	985	4	千葉県	585
5	愛知県	983	5	京都府	839	5	福岡県	348
			⋮	⋮	⋮	6	神奈川県	347
			12	静岡県	255	7	兵庫県	304
			16	岐阜県	145	8	北海道	210
			17	石川県	126	9	広島県	196
			21	愛知県	83	10	静岡県	194

※「主に観光目的」とは、宿泊目的が主として観光・レクリエーションであり、「主にビジネス目的」とは、宿泊目的が主として出張・ビジネスであることを意味する。

※延べ宿泊者数には宿泊目的割合不詳を含むため、観光目的とビジネス目的の合計とは一致しない。

※「愛知県観光振興基本計画」（愛知県）を基に作成

9. 国内都市別国際会議開催件数、主なコンベンション施設

- 名古屋大都市圏で開催される国際会議のほとんどは本市で開催されている。名古屋大都市圏で開催される国際会議の開催件数は、首都圏の約1/5、関西圏の約1/3である。
- 名古屋大都市圏で開催される見本市・展示会の開催件数は、首都圏の約1/25、関西圏の約1/3である。
- 本市では、1,000人規模の国際会議が毎年数回開催されている。

■ 国内都市別国際会議開催件数及び主なコンベンション施設

都市圏	都府県名	2006	2007	2008	2009	2010	平均	主なコンベンション施設(所在地、収容人数)
名古屋大都市圏		122	143	168	160	161	130	名古屋市国際会議場(名古屋市、3012) 愛知県芸術文化センター(名古屋市、2500) 日本特殊陶業市民会館(名古屋市、2291) 名古屋市国際展示場(名古屋市、1000) 名古屋市公会堂(名古屋市、1994) 長良川国際会議場(岐阜市、1689) 四日市市文化会館(四日市市、1816) アクティシティ浜松(浜松市、2336)
	愛知県 (うち名古屋)	109 (109)	122 (109)	152 (130)	137 (124)	139 (122)	113 (102)	
	岐阜県	6	5	8	12	13	8	
	三重県※1	0	0	0	2	0	0	
	静岡県※2	7	16	8	9	9	9	
首都圏		624	686	782	801	793	627	東京国際フォーラム(千代田区、5012) 東京ビッグサイト(江東区、1100) パシフィコ横浜(横浜市、5002) 幕張メッセ(千葉市、1664) 成田国際文化会館(成田市、1188)
	東京都	462	445	486	505	510	436	
	神奈川県	103	177	192	197	180	119	
	千葉県	59	64	104	99	103	71	
関西圏		438	435	447	454	433	413	大阪国際会議場(大阪市、2754人) アジア太平洋トレードセンター(3600人) 国立京都国際会館(京都市、1840人) 京都市勧業館(京都市、5000人) けいはんなプラザ(精華町、1000人) 神戸国際展示場(神戸市、4000人)
	大阪府	182	124	144	183	152	144	
	京都府	156	187	180	169	160	161	
	兵庫県	100	124	123	102	121	108	

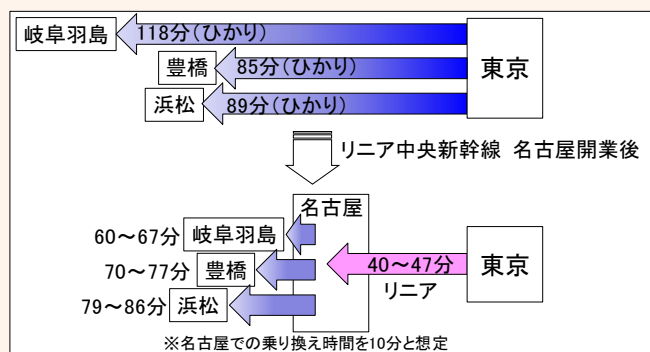
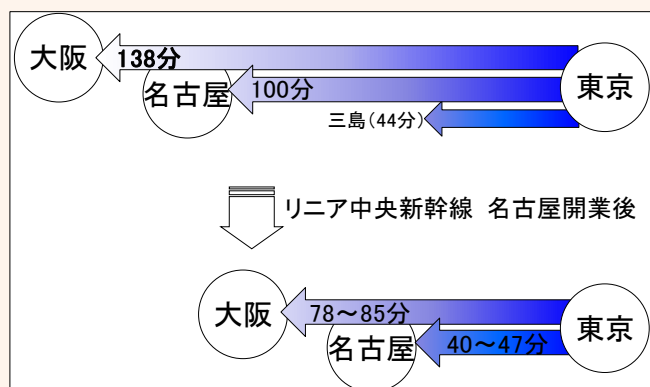
※「2011年国際会議統計」(JNTO)「日本コンベンション都市ガイド」等を基に作成

VII プロジェクト

1. リニア中央新幹線の開業（2027年）

- リニア中央新幹線が開通すると、東京圏と各都市までの到達時間は約40分短縮される。名古屋—東京間は40～47分に短縮する見込みである。
- リニア中央新幹線を用いて100分（現在の東京—名古屋間の所要時間）で到達できる範囲は、知多、西三河、岐阜、東濃、北勢地域にまで広がると想定される。東海道新幹線を利用すると、浜松や京都にまで広がると想定される。

■ リニア中央新幹線開業による時間短縮効果

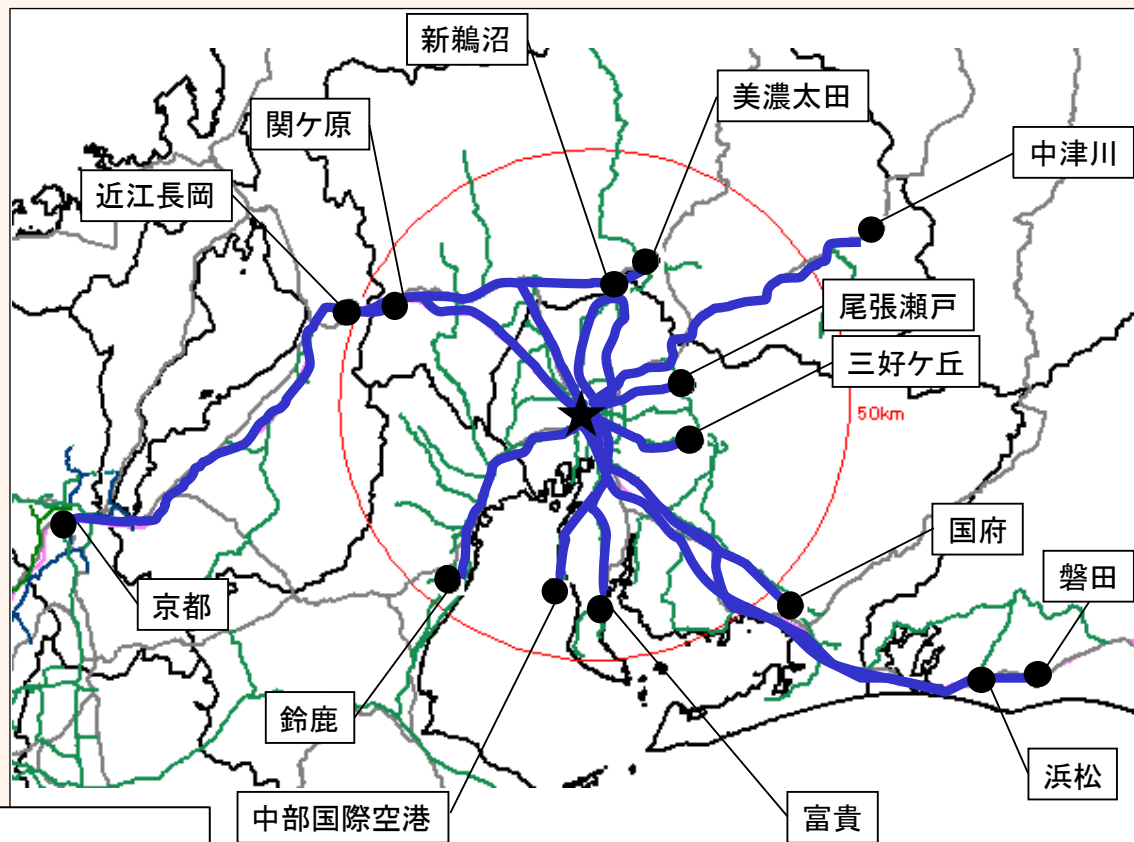


凡例

★：名古屋駅

■：東京駅から名古屋駅乗換で100分で行ける路線

■ 東京から100分圏エリア（リニア中央新幹線開業後）



2. 都心の再開発

- 名古屋駅周辺及び栄地域は、平成24年に特定都市再生緊急整備地域の指定を受けた。
- リニア中央新幹線のターミナル機能を担う名古屋駅では、都市の国際競争力の強化に向けて、民間主導による大規模な再開発が進んでいる。

■ 名古屋駅周辺の民間再開発

名古屋ルーセントタワー
＜平成19年1月竣工＞



ミッドランドスクエア
＜平成18年9月竣工＞



名駅一丁目計画
北地区(仮称)
＜平成27年竣工予定＞



名駅一丁目1番計画
南地区(仮称)
＜平成27年竣工予定＞



大名古屋ビルディング
＜平成27年竣工予定＞



モード学園スパイラルタワース
＜平成20年2月竣工＞



(仮称)グローバルゲート
＜平成29年度開業予定＞



ささしまライブ24

愛知大学名古屋校舎
＜平成24年3月竣工＞



名古屋クロスコートタワー
＜平成24年6月竣工＞



愛知県産業労働センター
(ウイング愛知)
＜平成21年9月竣工＞



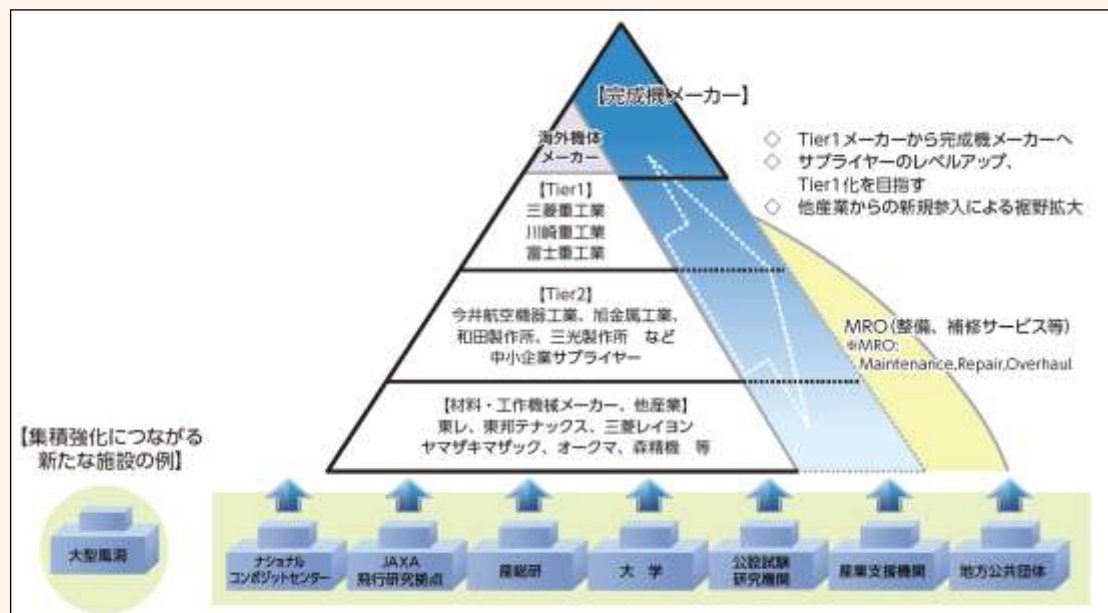
3. 航空宇宙産業の振興

- 平成23年12月、愛知県、岐阜県、名古屋市はじめ12地方公共団体が共同で指定申請した「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」が国際戦略総合特別区域として指定された。アジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターを形成することを目指す目標に掲げている。

■ 「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の区域



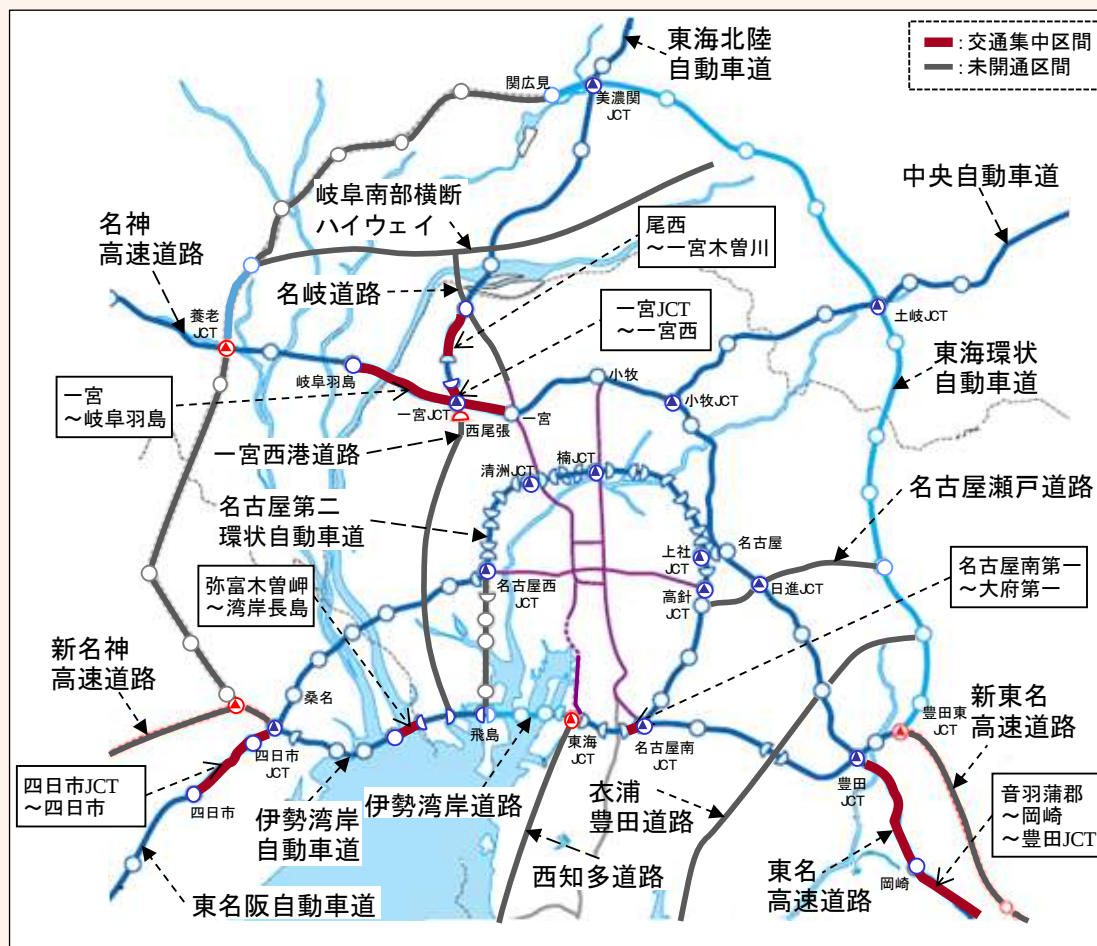
■ 航空宇宙産業クラスターが目指す将来イメージ(民間航空機のイメージ)



4. 道路ネットワークの整備

- 名古屋大都市圏は東名・名神・中央道等で東京、大阪と結ばれており、名古屋中心部は、高速・一般道ともに整備水準が高い。
- 高規格幹線道路に未整備区間が残り、ミッシングリンクの解消が必要であるとともに、インフラの老朽化により増大する更新費用への対応が求められる。

■中部圏の高規格幹線道路のミッシングリンク

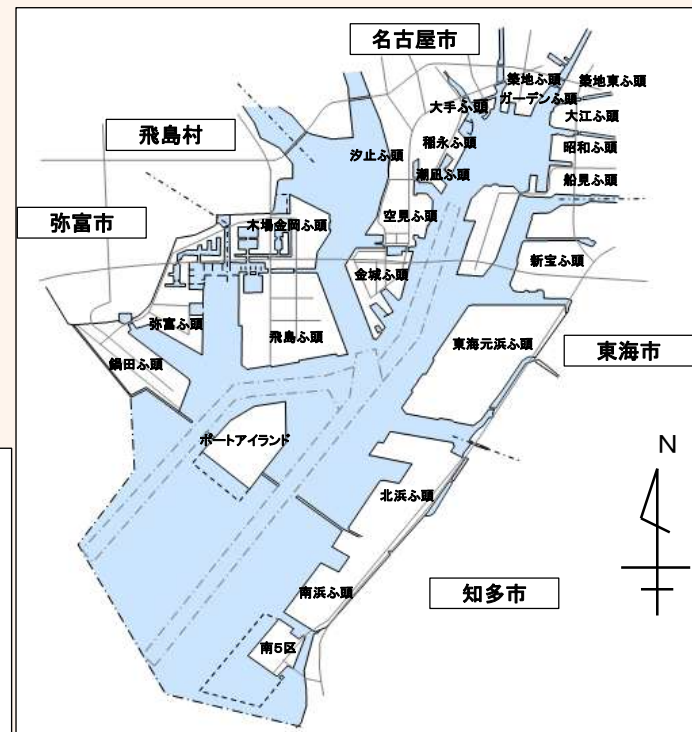


5. 名古屋港の国際競争力の強化

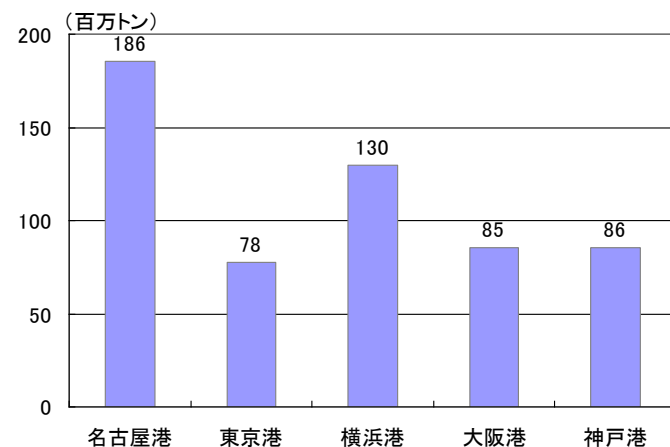
- 名古屋港は、総取扱貨物重量、外貿取扱貨物重量及び外国貿易額で国内随一の港湾であり、我が国の国際貿易を支える重要な役割を担っている。
- 「国際産業ハブ港」の実現を目指し、国際競争力強化に向けた各種取組を展開。平成23年5月には、名古屋港は国際バルク戦略港湾に選定された。



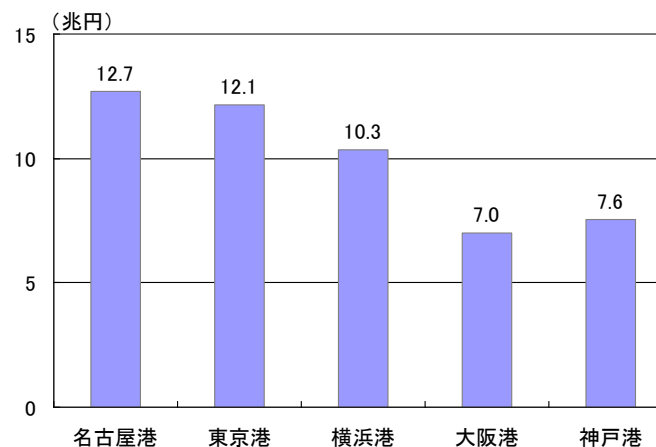
鍋田ふ頭コンテナターミナル



■ 港湾取扱貨物量



■ 外国貿易額



6. 中部国際空港の完全24時間化に向けて

- 高速道路網や鉄道網を利用して京都、伊勢志摩、北陸等にも移動しやすい優位性を持つ中部国際空港は国際線の就航路線数や便数が少ない。
- 完全24時間化の実現には、二本目滑走路が不可欠。



■ 国際空港別の定期就航路線数と便数

		中部国際空港	関西国際空港	成田国際空港
週あたり 国際線便数	旅客便	週間就航便数 275	週間就航便数 709	週間発着回数 2,830 週間便数(換算) 1415
	貨物便	週間就航便数 13	週間就航便数 144	週間発着回数 500 週間便数(換算) 250
	合計	週間就航便数 288	週間就航便数 853	週間発着回数 3,330 週間便数(換算) 1665
乗り入れ都市数		海外 26都市	海外 73都市	海外 99都市